

## 所長の部屋



### 所長のひとことアドバイス

タイトル 健康診断結果への対応(7) HbA1c

[2018年1月]

今回はHbA1cについてです。ヘモグロビンエーワンシーと読みます。赤血球中のヘモグロビンと糖が結合したもので、最近1-2ヶ月間の血糖値を反映します。直前の血糖値にはほとんど影響を受けません。基準値は5.5%程度までです。

実はこの検査値、日本では最近までJDSという値を使用していました。それが数年前から、NGSPという世界標準の値に替えられました。例えばHbA1c 6.1(JDS)は、NGSPでは6.5になります。現在では注釈がない場合はNGSP値を表しています。数年以上前の数値と比べる際には注意が必要です。

この値は糖尿病で高値になります。糖尿病の診断基準は、HbA1c $\geq$ 6.5%かつ空腹時血糖 $\geq$ 126mg/dLです。健診でこの値が6.0以上の場合は生活改善と3ヶ月程度後に受診し再検査を、6.5以上ならばすぐに受診し精密検査を受けましょう。

この値は、糖尿病かどうかの基準になるだけでなく、糖尿病と診断された患者さんの治療効果の指標としても大切です。糖尿病と診断されても、食事や運動だけでも、または内服薬やインスリン注射により、この値が正常化することがあるのです。私は糖尿病患者さんに、この値が6.0以下なら「優」、7.0以下なら「良」、8.0以下なら「可」、8.0を越える場合は「不可」と言っています。ただし高齢者には、少し基準を甘くしていますが。